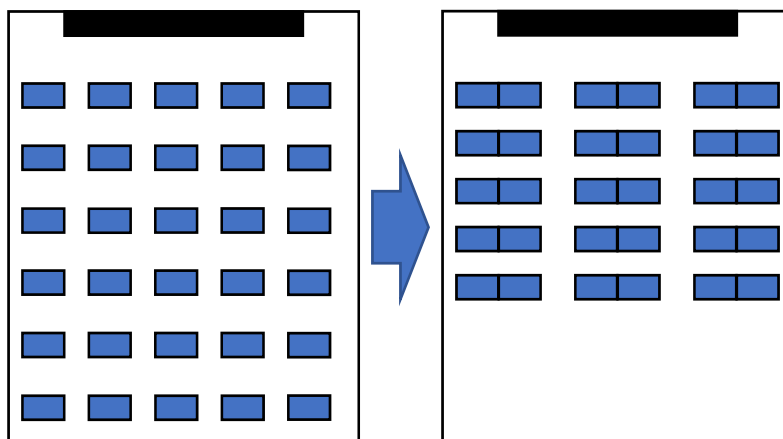


毎日忙しくて、なかなかことばの学習の時間が取れないという声もお聞きます。しかし、MIM-PMの得点が低いということは、教科の学習で必要となる読むことが難しいということになります。ことばの学習に取り組むことが、結果として、学力向上に強く繋がっていることを考えて、ぜひ、大切にしてください。

一方でことばの学習をやっているんだけど、なかなか得点に変化がみられない…そんなクラスもあります。そんな時は小諸養護学校のセンター的機能系の職員が訪問してクラスレポートや個別の配慮計画と一緒に見て考えたり、授業を参観して授業での配慮事項などを考えたりすることもできます。必要な場合はご連絡ください。

教室の机の配置って大事ですね

教室の机の配置はそれぞれのクラスで工夫をされているかと思います。人間関係や学習しやすい位置など、気に入った方が良いことはたくさんありますね。正解はないので、それぞれのクラスの実態にあった形で配置していただくことが一番良いと思います。そんな中で、授業で教室を訪問して感じるのは、先生方の立つ位置と児童の座席との距離の大切さです。理科室をイメー



ジしてみると一番わかりやすいかと思いますが、黒板と子どもたちの間には大きな演示用の教卓があったり、子どもたちの使う大きな実験用の机があったりして、後ろの子どもとの距離がとても遠いです。遠くなると、話の内容も伝わりにくくなっているように感じます。理科室は物理的に変更が効かないので仕方がないと思います。教室は机の配置は自由にできるので、できるだけ黒板や先生の立つ位置の近くに子どもたちの机があると良いのではないかと感じています。試しに縦に6列机を並べていたクラスでは、5列に減らして前の方に詰め、横の並びを増やしていただきました。実際に授業をした担任の先生からは授業をしやすくなったという感想をいただきました。子どもたちもきっと先生との距離が近くなって授業に参加しやすくなったのではないかと思います。授業のユニバーサルデザインで様々な取り組みが行われています。机を前の方に寄せるということもその一つかもしれないと感じています。

バックナンバーがホームページで見られます

特総研のMIMのホームページに「ももりんMIMだより」のバックナンバーが掲載されています。多層指導モデルMIMのホームページ

(<http://forum.nise.go.jp/mim/>) → 「MIM 関連資料」 → 「汎用データ

ベース」と進むと「ももりんMIMだより」が掲載されています。以前どんなことが書かれていたかなという時には、ダウンロードして活用してください。

